

【ねがいはしては】

平成29年11月25日

KYOWA SCHOOL

第325号

「ウサギとカメ」

イソップ寓話の中の有名なお話、「ウサギとカメ」。ギリシャ神話のひとつで、日本でもおなじみのお話。日本昔話としても扱われています。

原点に立ち戻って考えてみますと、何もウサギとカメが競争する必要はなく、ウサギはウサギらしく、カメはカメらしくあればいいと思います（それを言ったら何も始まらないかもしれませんが）。ウサギはカメの足の遅さに気をとられ、油断をし、結末はカメに勝ちを譲ったお話で、人生こつこつ生きることがいかに大切であるか、まさに日本人にはぴったりのお話かとも思えます。

カメは常に自分を把握していました。自分自身を見つめる勇気を持っていました。自分には目的地に早くたどり着けないことをあらかじめ理解していたことで、この人生をどのように生きていけば良いかを常に考えていました。そして、結論。「休みなくこつこつと歩むことが大切」だと……。しかし目的地にたどり着くとほどのようなことなのでしょう。今の子どもたちに当てはめてみると、小学校で同じ内容の勉強に評価が与えられ、それによって優劣が与えられ、順位が与えられ、高校進学や大学進学などで人の価値が決定されてしまうような風潮が当たり前になっています。一流大学卒業、一流企業就職があたりまえのゴールインかのような風潮が蔓延しています。収入安定が果たしてしあわせなのか。名誉職を勝ち取ることがしあわせへのキップなのか……。

というように、考えてしまうのはいったい誰なのか……。

実は子どもたちには縁遠い考えだと思っています。幾度も言われているうちに徐々に変化する価値観。その価値観で覆い尽くしてしまうような言動がどこかで……。

私は真剣に取り組んでいる子どもたちを目の当たりにして、その瞬間に評価を与えてあげたいと思っています。精一杯に生ききっていればそれが最高の評価になります。

「生きようとする」その積み重ねが、やがて「生きる力」へと成長し、自身だけでなく他人を助ける行為、つまり隣人に対し、思いやりのある行動などのような「ひと」としての当たり前のものを育むことにつながると思うからです。

他を意識せず、自分の道をただ一心に歩こうとする姿勢は、何者にも替えがたい尊い姿ではないでしょうか。確かに社会へ出ればほとんどが結果主義になります。結果が出て初めて評価になります。わかってはいても、それをそのまま子どもたちの世界に100%重ねてしまえば、大切な「こころ」は育つとは思えません。

三者三様、千差万別、その子がその子らしく淡々と自分の道を歩む姿が本物の100点。大好きな家族に囲まれ、暖かみを感じながら、淡々と歩む……。しあわせな家族の姿です。

片や、傍らで我が子がしっかりと机に向かっているか監視をし続ける家族……。

「やあ、かめさん、相変わらずマイペースで歩んでいますね。」「やあ、うさぎさんも相変わらず弾んでいますね。空飛ぶヒバリさんでも追いかけているんですか、今日も空は青く澄んでいますよね。皆さんによろしくね。」「ありがとう、かめさん、君こそ道ばたに咲く一輪の小さい花に挨拶かい。歌でも歌ってもらえたらいいよね。」

お互いがお互いを敬い、その立場を理解し、慈しみ逢う……。私は私の道を、あなたはあなたの道を……。別々の道を一緒に歩く……。難しいことなのかもしれませんが、それが家族の理想なのかもしれません。決して自分の歩んだ道を我が子に当てはめない。決して他人が歩んだ道を我が子に当てはめない。決して自分の理想とする道を我が子に当てはめない。我が子は我が子の道を歩む……。ただ精一杯に……。その姿を見たとき、家族全員が我が子に対しこころからの拍手……。

「うさぎさん、私は私の道を歩んできました。そしてこれからも私の道を歩み続けます。なぜって、だって今まで数多くの友だちが私にはできました。その友とこれからも逢いたいし、話したいし、食事もしたいし、こんな私だけでも、みんな笑顔で迎えてくれるんですよ。なんとかマイペースで食べてきたもんで、これからもマイペースで食べていきますね。」「そうだったんですか、かめさん、わたしも実は、多くの鳥さんたちや雲さんたちと友だちになりましてね。これからもこうやって飛び跳ねて生きていきたいなって感じていたんですよ。お互いにしあわせを見つめることができよかったですね。」

こんな会話がお子さんと、その周りのお友だちとの中であつたら素敵ですよ。

人と人、なぜこうも競わなければならないのでしょうか。生まれたときから「あなたの子何グラム？ 私のところはね〜グラムだったのよ。」もうくらべっこですか。

さて、君たちよ。久々に玄関の相田さんの詩ですよ。

「子供へ一首 どのような道を どのように歩くとも いのちいっぱい生きればよいぞ」 みつを